

ホームシアターグランプリ2012 金賞受賞

ハイブリッド構造&ハイスペックガラス採用の内窓

カリスマインストローラーが語る ハイエンド内窓へまどまど

カリスマが選んだ 高性能・高機能内窓

遮音性能の高い内窓としてホームシアターファンの間で知られているのが、AGC旭硝子から発売されている「まどまど」。その高性能・高機能がホームシアターづくりのプロであるインストローラーから圧倒的な支持を誇り、「ホームシアターグランプリ2012」内窓部門の金賞を見事受賞した。

その遮音性能はT-4等級であり、40dB程度、音を減衰することが可能である。ちなみに一般サッシでは20〜25dB程度である。

さて、今でこそ、「まどまど」の高い遮音性能はホームシアターファンの間で広く知られるようになったが、3年前、まだ一般的にはそれほど認知されていない頃に、時代に先んじて「まどまど」に注目しているインストローラーがいた。「ホームシアターグランプリ2012」インストローラー部門の総合金賞を受賞した、ホームシアター工房の山岡裕和氏である。

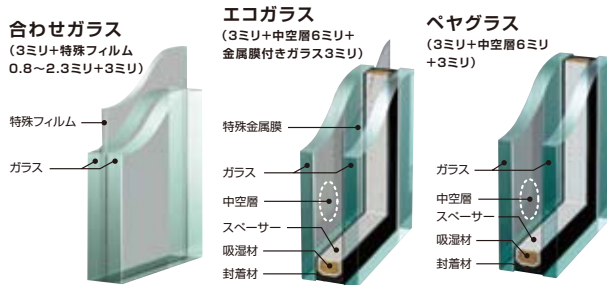
「まだ東京にショールームを構える前、大阪のショールーム時代に、ある防音業者の紹介で、『まどまど』に出会いました」と山岡氏は語る。

「一般的に音は開口部から漏れていくことが多いので、開口部に防音対策を施すと効果的です。住宅では、窓、ドア、換気扇が三大開口部です。特に窓は広い面積を占めますので、対策が必要です。なかでも、既存の窓の室内側に、中空層を設けて、もうひとつ窓を追加すること。要するに『内窓』を設置して、二重サッシ化してしまおうと効果的です。そういうこともあつて、使える内窓を探している時に『まどまど』に出会いました。

『まどまど』は遮音性能が高いので、ホームシアターづくりに適したソリューションになると思い、さっそく大阪のショールームに導入しました。」

導入後遮音性能をチェックしてみたそうだが、非常に優秀であり、以後「まどまど」は、ホームシアター工房が手がけるホームシアターづくりに活躍しているそうだ。

豊富なラインアップ。高性能・高機能ガラス



合わせガラス
(3ミリ+特殊フィルム
0.8~2.3ミリ+3ミリ)

エコガラス
(3ミリ+中空層6ミリ+
金属膜付きガラス3ミリ)

ペヤガラス
(3ミリ+中空層6ミリ
+3ミリ)

談話／山岡裕和氏
(ホームシアター工房)
取材・構成／編集部

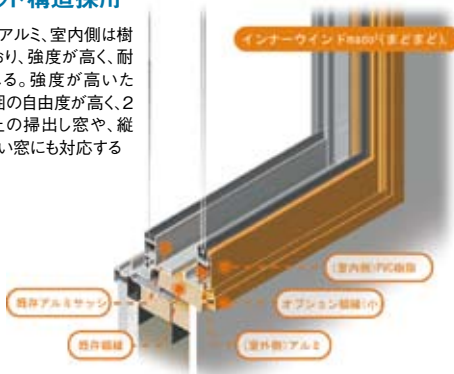
ハイブリッドの堅牢な造り。 豊富なガラスのラインアップ。

山岡氏によると、「まどまど」の大きな特長は2つ。ひとつはアルミと樹脂のハイブリッド

山岡氏が語っているとおり、「まどまど」は高性能・高機能ガラスを使用し、ラインアップも豊富である。合わせガラス、複層ガラス、エコガラスの3種類が用意され、それぞれのガラスが断熱性能や防犯レベルによって細分化されている。たとえば、省エネ性能を重視するのなら、遮熱・断熱効果の高いエコガラスがオススメだ

アルミと樹脂の ハイブリッド構造採用

基本構造はアルミ、室内側は樹脂となっており、強度が高く、耐久性に優れる。強度が高いため、製作範囲の自由度が高く、2メートル以上の掃出し窓や、縦方向に細長い窓にも対応する



ガラスだけでない！ カラーや窓種も豊富

引違い窓、内開き窓、テラスドアと、窓種も豊富にラインアップ。色も、ハーモニックウッド、柾目、ヨーロッパアンティーク、プレミアムホワイトの4色を用意する

AGC旭硝子 まどまど

¥131,775 / 窓(2100×2000mm、エコガラス、FL3-空気層6ミリ-LE3、3方小額縁付の場合)





スクリーンを上げて扉を開くと「まどまど」が隣室(和室)との間仕切りに使われている。「まどまど」は二重サッシとして用い、しっかりと音を防ぐ。Nさんのイメージは田中氏によって見事に実現したのである

純日本風家屋を大胆にリフォーム。遮音対策をしっかりと施し、シックなホームシアター専用室を築き上げた。音響設計もしっかりと施す。「どちらかと言えば映画が中心」というNさんの嗜好を受けて、田中氏がややデッド気味にチューニングを行った

閉はずっしりとしています。また鍵を閉める時の感覚も(他の内窓とは)まったく違います。防音ドアを閉める時のような重みがあります。耐久性と気密性が高く、遮音性能がしっかりとれていることの現れです」

次に山岡氏が挙げるのが高性能・高機能ガラスの採用、豊富なガラスのラインアップである。「まどまど」はガラスの種類が非常に豊富で、ガラスの間に特殊フィルムを挟み込んだ合

わせガラスをはじめ、ベアガラス(複層ガラス)やエコガラス(LowE複層ガラス)が用意され、しかもそれぞれ断熱性能や防犯レベルによって複数のラインアップがそろえられている。「ガラスメーカーだけあって、ガラスの種類が非常に豊富です。そのため、たとえば節電や省エネを考慮して、遮熱・断熱効果の高いエコガラスを選ぶということだってできます。ライフスタイルに合わせて、お好きなガラス

を選び出すことが可能な点がよいですね」

また、製作できる寸法の幅も広く、2メートル以上の掃出し窓や縦方向に細長い窓にも対応する。こうした自由度の高い点も気に入っているとのこと。

「ホームシアターのメインコンテンツであるブルーレイには、製作者がこの程度の音量で聴いてほしいという音圧レベルがあります。その音量で再

「まどまど」を部屋の間仕切りに使用! 本格シアターへとリフォーム

本誌前号の表紙となった大阪N邸。ホームシアター工房 大阪がインストールを手がけ、純日本風の家屋が本格的な専用室シアターへと形を変えた。生粋のAVファンだったNさんは、耐震補強をしようとリフォームを考えたことをきっかけにして、永年夢描いてきたホームシアターづくりにとりかかった。

ホームシアターづくりを依頼したのはホームシアター工房 大阪。同店の田中雅史店長が防音工事とホームシアターインストールを担当した。Nさんの要望はしっかりと遮音性能を保つことと、100インチのスクリーンの導入、さらに隣室との関係性も重視した。隣室との関係性とは、もともとあった3つの和室のうち、2部屋分をホームシアターにするのだが、親類が集まる時には、ホームシアターと残りの和室との間を開いて、大きなひとつの空間として使うことができるように考えていたのである。そのため、通常であれば壁として塞いでしまう部分も開口部として残さなくてはならなかった。

そこで大活躍をしたのが「まどまど」。田中氏は、この開口部に「まどまど」を二重に設置して、防音性能を確保しつつ、親類が集まる時には開け広げられるようにインストール。見事Nさんの要望を果たしたのであった。「まどまど」はもちろん内窓として使われるのが一般的だが、間仕切りとしての使い方もあるのだ。十分な中空層を設けて「まどまど」を二重サッシ化すれば、防音ドアとほぼ同じような遮音性能を発揮する。時には防音も必要だが、開放的な空間にもしたい。そんな要望へのひとつの回答である。

生してこそ、製作者の意図がはつきりとつかみとれます。これは意外に大きな音量です。しかし、それなりに大きな音量で楽しむことこそ、ホームシアターの醍醐味となります。音漏れを手軽に防ぐ手段として『まどまど』の導入をお勧めします」と山岡氏。

プロフェッショナルの厳しい目を選んだ内窓「まどまど」。これからホームシアターづくりを考えている方、既

にホームシアターを持つてはいるが音漏れが気になる方、すべてのホームシアターファンに、「まどまど」の導入をお勧めしたい。



山岡裕和氏
philenumber:1288

「ホームシアター2012」インストール部門で総合金賞を受賞したカリスマインストラー

ホームシアター工房 東京

- 住所: 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-11-17 ラウンドクロス新宿 6F
- J ホームスタイル 東京ショールーム内
- 電話: 03-6300-4371

ホームシアター工房 名古屋

- 住所: 〒460-0024 愛知県名古屋市中区正木 1-14-9 東海ユニオンビル 1F
- 電話: 052-324-4450

ホームシアター工房 大阪

- 住所: 〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町 1-7-2 ウエストスクエアビル 1・2F
- 電話: 06-6535-0770